



2026年8月1日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
12,915万kW
14時30分、129,154 MW
(10エリア同時刻合計)

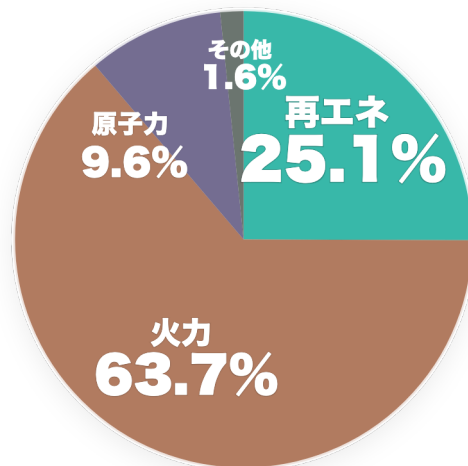
≈ 風力ピーク
168万kW
20時、1,685 MW

↔ 最大受電エリア
東京
146 GWh

☀ 太陽光ピーク
4,376万kW
11時30分、43,756 MW
(自家消費分除く)

◇ 再エネ最大需要比
44.7%
11時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
116 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 47.8%
36.3 GWh

揚水・蓄電の充電

56.5 GWh
発電構成比には含めない

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:30に4,573万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで47.8%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	25.1%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	666 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,660 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	44.7%	11時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	56.5 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	47.8%	36.3	0.0	送電 7.6
東北	30.9%	97.3	0.0	送電 116
東京	19.2%	149	0.0	受電 146
中部	31.0%	101	0.0	受電 47.5
北陸	32.5%	26.7	0.0	送電 8.6
関西	16.0%	68.0	0.0	受電 44.1
中国	31.0%	53.6	0.0	送電 1.6
四国	23.7%	30.2	0.0	送電 47.1
九州	30.7%	100	0.0	送電 38.4
沖縄	10.5%	3.3	0.0	—



2026年8月1日の供給実績

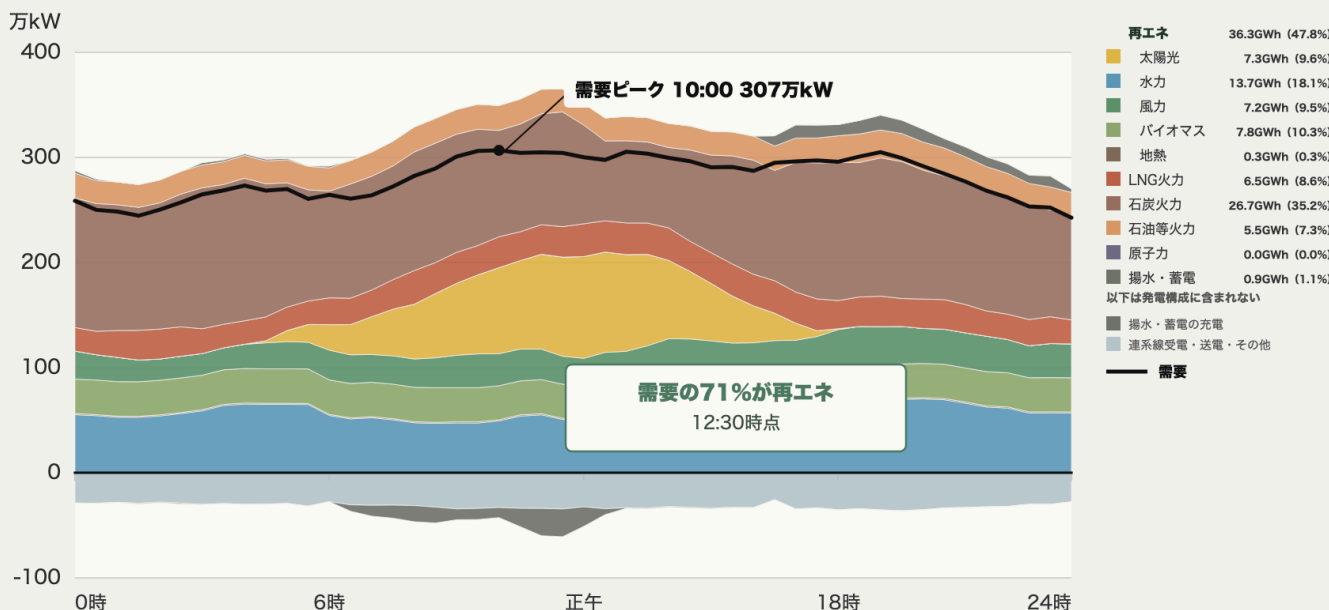
北海道エリア

再エネ

36.3GWh

(発電電力量ベース47.8%)

北海道エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

75.9GWh

需要ピーク

10:00、307万kW

連系線・その他

7.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク97万kW、風力ピーク42万kWで、時間別の再エネ最大需要比は70.5%だった。



2026年8月1日の供給実績

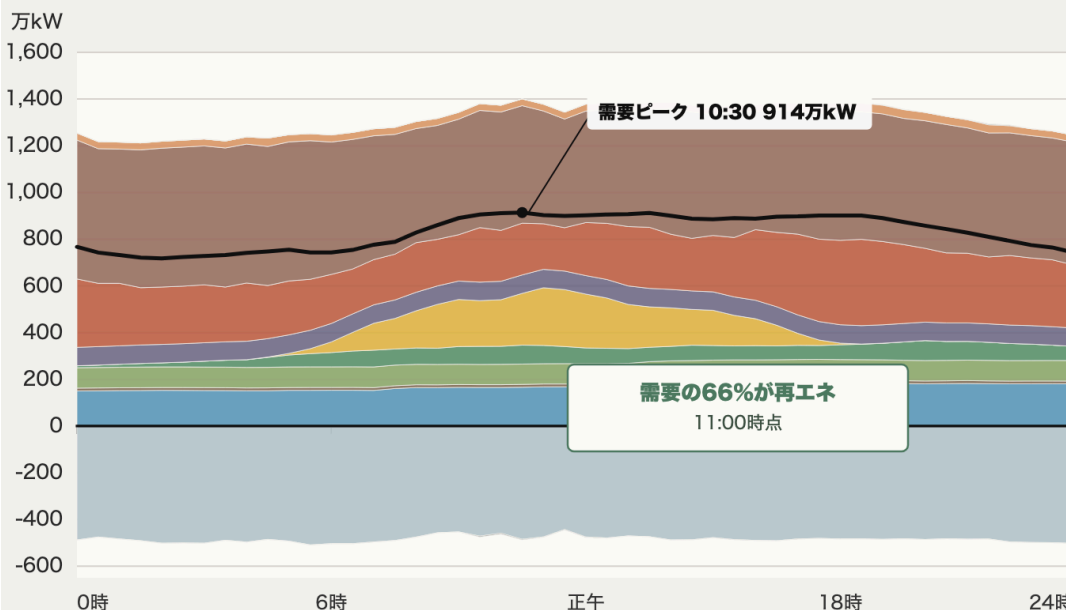
東北エリア

再エネ

97.3GWh

(発電電力量ベース30.9%)

東北エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 315.3GWh
(3,153万kWh)

再エネ	97.3GWh (30.9%)
太陽光	18.8GWh (6.0%)
水力	40.5GWh (12.8%)
風力	14.1GWh (4.5%)
バイオマス	21.1GWh (6.7%)
地熱	2.9GWh (0.9%)
LNG火力	62.3GWh (19.8%)
石炭火力	129.1GWh (40.9%)
石油等火力	7.6GWh (2.4%)
原子力	18.9GWh (6.0%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

315.3GWh

需要ピーク

10:30、914万kW

連系線・その他

116.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク247万kW、風力ピーク85万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.6%だった。



2026年8月1日の供給実績

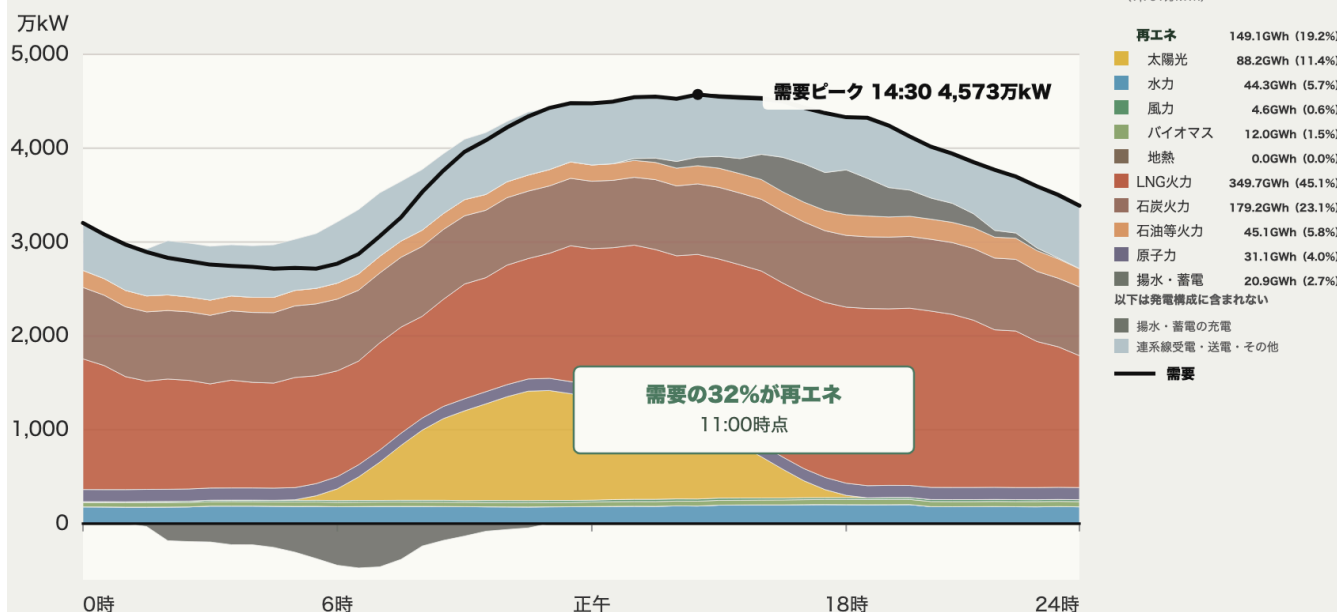
東京エリア

再エネ

149.1GWh

(発電電力量ベース19.2%)

東京エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

775.1GWh

需要ピーク

14:30、4,573万kW

連系線・その他

146.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

22.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,171万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は32.5%だった。



2026年8月1日の供給実績

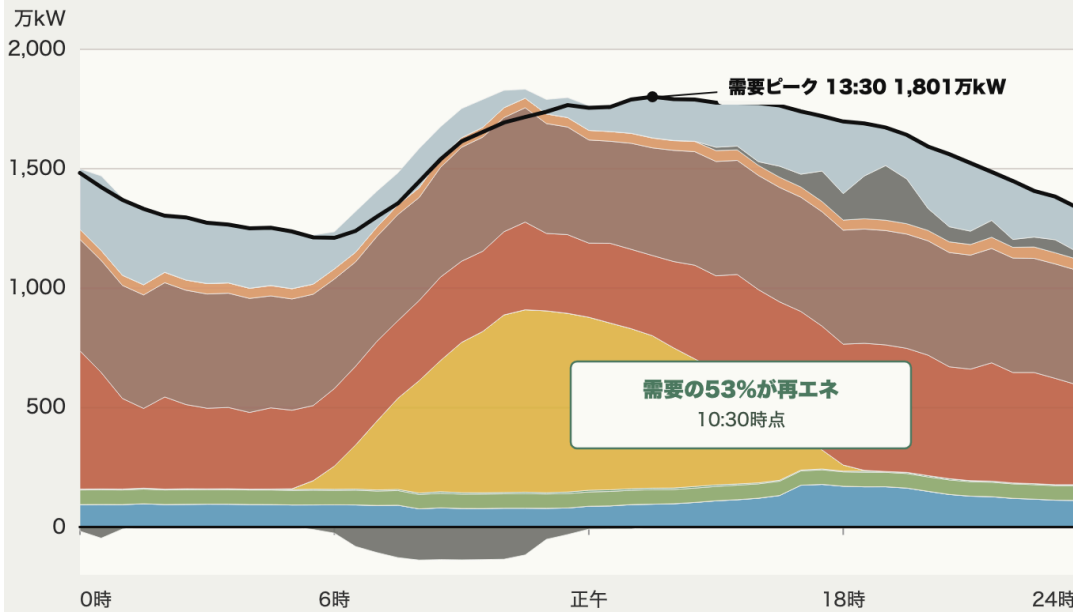
中部エリア

再エネ

101.5GWh

(発電電力量ベース31.0%)

中部エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

327.4GWh

需要ピーク

13:30、1,801万kW

連系線・その他

47.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

6.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク763万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.0%だった。



2026年8月1日の供給実績

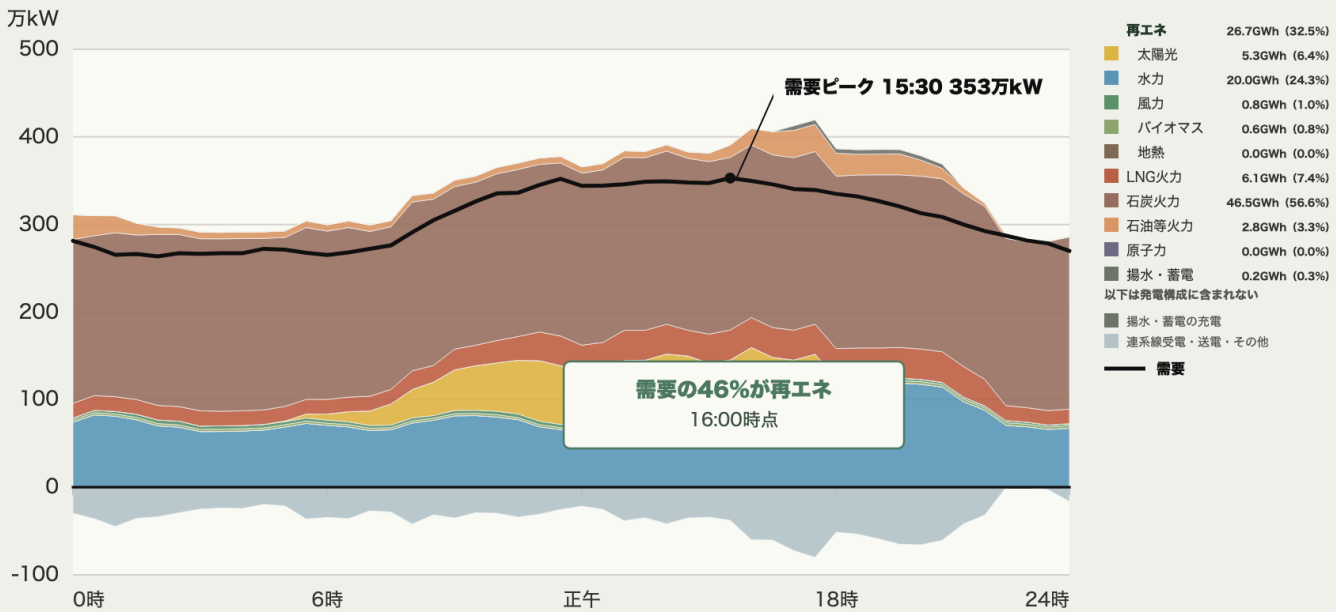
北陸エリア

再エネ

26.7GWh

(発電電力量ベース32.5%)

北陸エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.3GWh

需要ピーク

15:30、353万kW

連系線・その他

8.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク69万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.6%だった。



2026年8月1日の供給実績

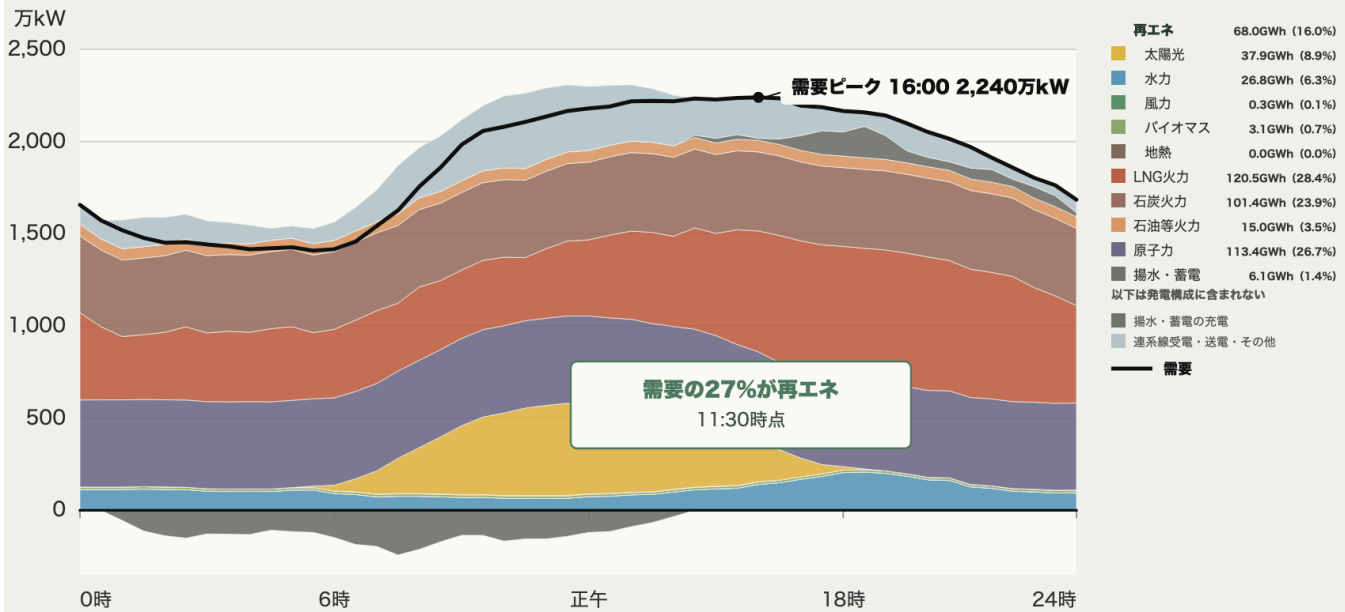
関西エリア

再エネ

68.0GWh

(発電電力量ベース16.0%)

関西エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
424.5GWh

需要ピーク
16:00、2,240万kW

連系線・その他
44.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
18.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク500万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.8%だった。



2026年8月1日の供給実績

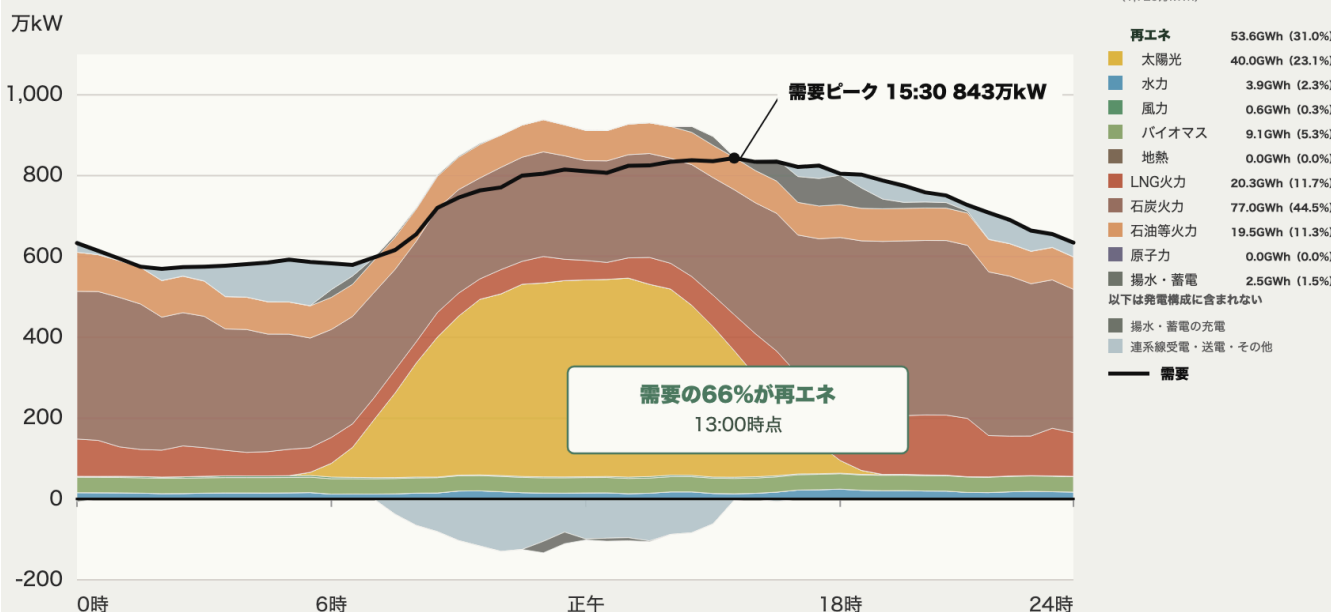
中国エリア

再エネ

53.6GWh

(発電電力量ベース31.0%)

中国エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

172.9GWh

需要ピーク

15:30、843万kW

連系線・その他

7.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク492万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.3%だった。



2026年8月1日の供給実績

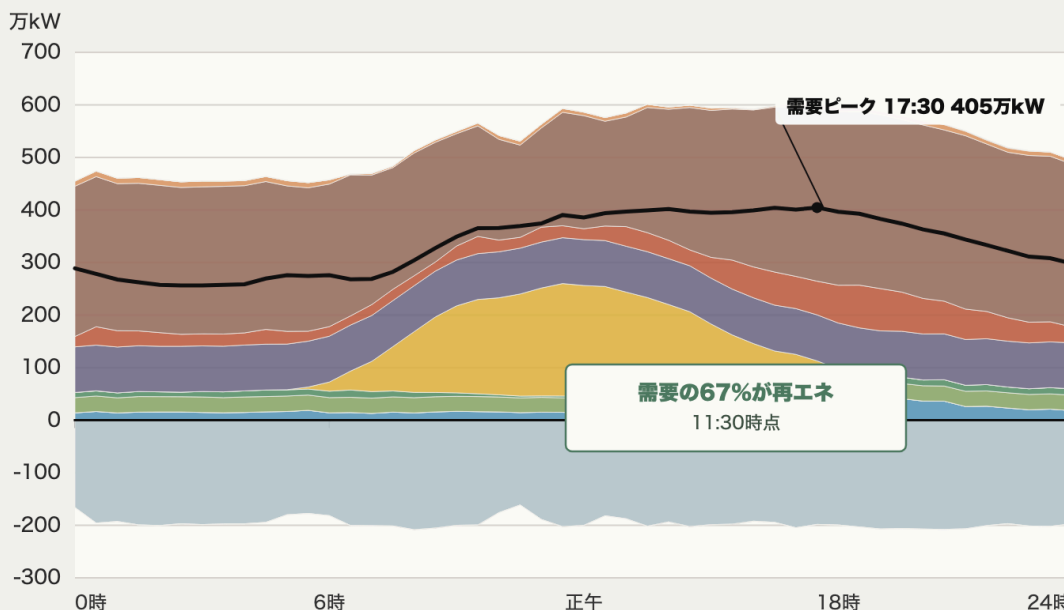
四国エリア

再エネ

30.2GWh

(発電電力量ベース23.7%)

四国エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 128GWh
(1,276万kWh)

再エネ	30.2GWh (23.7%)
太陽光	16.2GWh (12.7%)
水力	5.0GWh (3.9%)
風力	2.1GWh (1.6%)
バイオマス	6.9GWh (5.4%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	9.0GWh (7.1%)
石炭火力	65.7GWh (51.5%)
石油等火力	1.7GWh (1.3%)
原子力	20.9GWh (16.4%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

127.6GWh

需要ピーク

17:30、405万kW

連系線・その他

47.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク214万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.2%だった。



2026年8月1日の供給実績

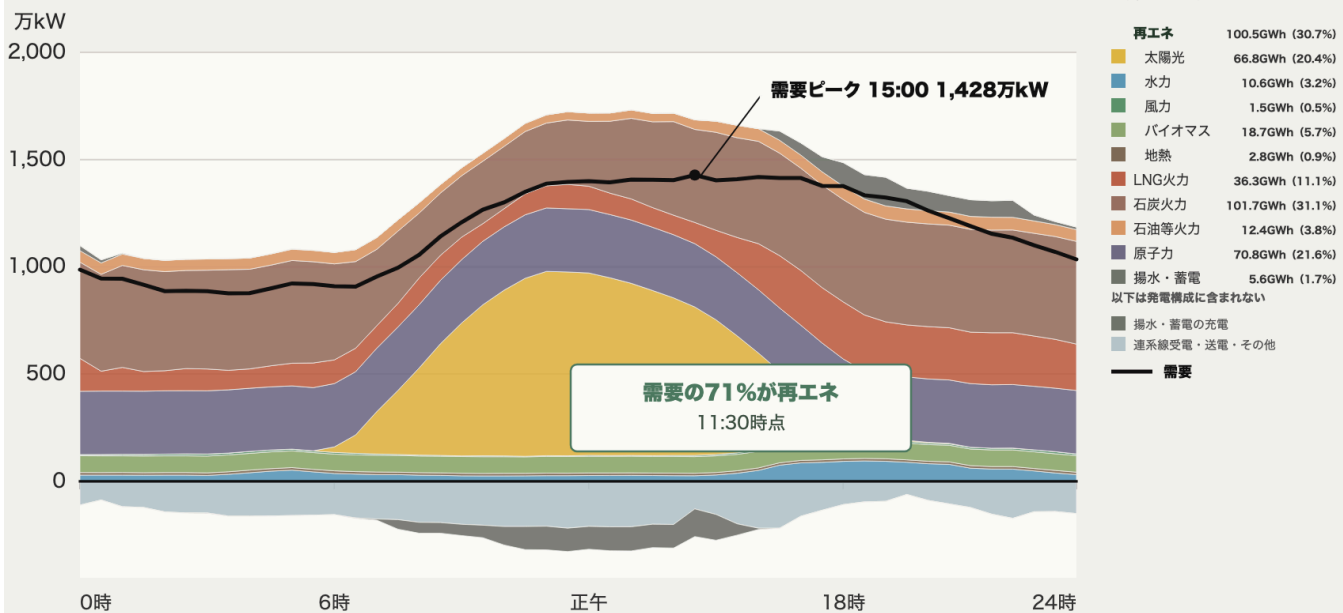
九州エリア

再エネ

100.5GWh

(発電電力量ベース30.7%)

九州エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

327.3GWh

需要ピーク

15:00、1,428万kW

連系線・その他

38.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

7.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク859万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は70.5%だった。



2026年8月1日の供給実績

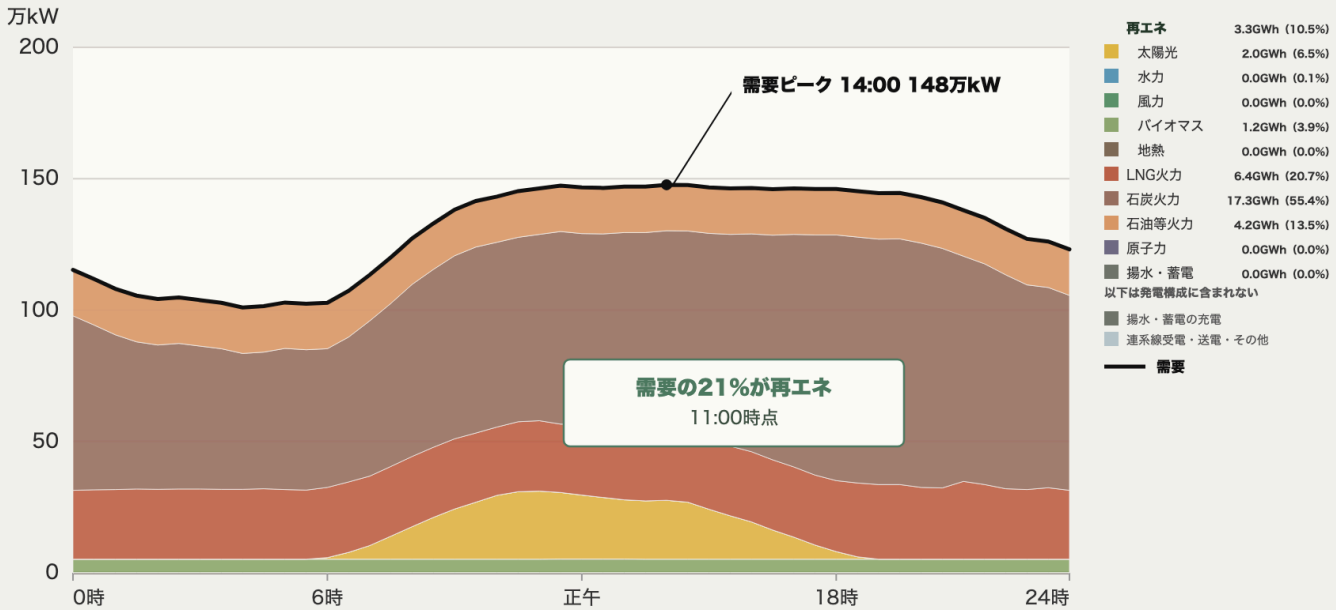
沖縄エリア

再エネ

3.3GWh

(発電電力量ベース10.5%)

沖縄エリア 2026年8月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

31.2GWh

需要ピーク

14:00、148万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.3%だった。